



山梨県立

甲府昭和高等学校



所在地 〒409 3866 中巨摩郡昭和町西条3000番地
 電話 055 275 6177～9
 F A X 055 275 2594
 U R L <http://www.syowah.kai.ed.jp/>
 E-mail webmaster@syowah.kai.ed.jp
 創立 昭和59年4月3日
 課程 全日制
 利用交通機関 山梨交通バス NTT 新甲府ビル下車 徒歩10分
 山梨交通ハイスクールライナーバス
 アルプス通り甲府昭和高校入口下車 徒歩10分
 JR 身延線 国母駅下車 徒歩20分 自転車7分
 教員数 49名
 生徒数 758名

学科名	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
普通科	110	130	106	134	109	169

甲府昭和高校は、勉強に、部活動に、情熱を傾ける生徒を応援しています。

校訓 自主創造

(「自主性」とは、自分で考え、自分で判断し、自分の意志と努力で自分の行動に責任をもって生きていくこと。「創造性」とは、新しいものを創りだしていく精神、自己の良いところを発見し、理解を深め、自己実現に努めて自らを創造すること。)

教育目標

真理を愛し、たくましく、心豊かな人間に育成する。

指導重点

創立35周年を迎えた本校では、新たな時代の教育の方向性を見据えた上で、校訓及び教育目標の実現を目指し、学校の教育力、組織力を一層向上させながら、特に次のことに力を入れて取り組んでいきます。

身につけさせたい資質・能力の育成

本校生徒に身につけさせたい資質・能力を明確にした上で、一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな学習指導を実践していきます。さらに学習意欲を高める指導・評価の工夫のほか、授業と家庭学習の有効な接続や総合

的な学習の時間における探究的な学習の充実を目標に、生涯にわたって学習の礎となる智の獲得をめざします。

さわやか教育

本校では創立以来、さわやか教育(さわやかな行動、さわやかな環境づくり、さわやかな挨拶、さわやかな服装)を推進しており、規律ある学校づくりとボランティア活動への主体的な参加に努めています。

安全で安心な教育環境

交通安全教育と教育相談体制の充実を柱に、各種連携事業を通して、地域に貢献する教育を推進していきます。

学習の流れ

1年次は、基礎学力の充実をめざした学習を進めます。新たに、文系、理系のどちらにも対応できる高習熟度クラスとして「文理習熟クラス」を2クラス設置しました。

2年次は、個々の適性や関心に応じて、文系、理系それぞれのコースに分かれて学習を深めます。

3年次は、生徒一人ひとりが個々の進路希望に応じた学習を深め、自己実現を図ります。

2・3年次の文系では「文系習熟クラス」を、理系では「スーパー理数クラス」を、それぞれ高習熟度クラスとして1クラスずつ設置し、発展的な学習を行っていきます。

	共通科目	選択科目
文系 理系	国語総合・現代文B・古典B・世界史A・現代社会・数学・数学A・科学と人間生活・化学基礎・体育・保健・コミュニケーション英語・英語表現・家庭基礎・社会と情報	国語表現・国語探究・日本史AB・世界史B・地理AB・世界史探究・日本史探究・倫理・政治経済・数学B・数学・数学探究ABC・物理基礎・生物基礎・物理・化学・生物・自然科学探究AB・スポーツ研究・音楽・美術・書道・音楽探究・美術探究・書道探究・ソルフェージュ・素描・英語探究・フードデザイン・ライフデザイン・子どもの発達と保育
スーパー理数 2年次以降	現代文B・古典B・現代社会・理数数学・理数数学特論・化学基礎・理数化学・体育・保健・コミュニケーション英語・英語表現	地理B・政治経済・物理基礎・理数物理・生物基礎・理数生物

一人ひとりの可能性を伸ばす学習機会

年10回程度「土曜講座」を実施し、進路実現に向けた基礎力・応用力を確かなものにします。

夏休みには、夏期登校学習会（1・2年）、夏期課外（1～3年）、宿泊学習会などを実施し、休業中の学習を支援します。

年度末には、外部講師による春期課外（1・2年）を実施し、大学受験に向けた実力を養成します。

推薦入試などに対応するため、小論文指導・面接指導を、個別に、計画的に、きめ細かく行います。

将来を見通す総合的な学習の時間

外部講師の講話による、自己理解や社会との関わりを深める活動、熟議による進路をテーマにした探究活動を通して、自己の在り方や生き方を考えることができるようになることをめざします。グローバル社会に対応する人材を育成するSGHアソシエイト企画と連携して、体系的なキャリア教育を実践しています。

自主的な学習を応援する環境

今年度の1年生から、オリジナル手帳「未来へ」と、学習支援システム「Classi」を併用しています。

進路実現に向けて、日々の学習計画や取り組み状況を振り返ったり、資格取得や部活動等の実績を3年間にわたって記載、入力したりして、新大学入試に対応できる環境の整備を推し進めています。

また、職員室前には、生徒の疑問に答える「質問コーナー」が整備され、昼休みや放課後には、多くの生徒が熱心に教師に質問をしています。

活発な部活動

各部とも高い目標をもって積極的な活動を展開しています。体育局では、多くの選手が県代表として関東大会や全国大会に出場しています。また文化局も、各種大会・コンクールで上位入賞を果たしています。

学習との両立を図るため、本年度策定した「部活動の活動方針」に基づき、計画的な活動を行っています。

体育局

野球部、サッカー部、バスケットボール部（男女）、陸上競技部、ソフトテニス部（男女）、テニス部（男女）、バレーボール部（男女）、卓球部、剣道部、ボクシング部、弓道部、水泳部、山岳部、ソフトボール部、なぎなた部、パドミントン部

文化局

吹奏楽部、写真部、パソコン部、箏曲部、美術部、文学部、放送部、将棋部、演劇部、書道部、茶道部、華道部、家庭料理部、ESS、ダンス同好会

部活動の実績（平成29年度）

全国大会出場

全国高校総体（インターハイ）

なぎなた部、水泳部



えひめ国体 なぎなた部、水泳部

関東大会出場 なぎなた部、女子ソフトテニス部、水泳部、ボクシング部、陸上競技部、弓道部、ソフトボール部、文学部、家庭料理部、吹奏楽部



<平成29年度卒業生の大学合格状況>

国公立大学（合計65名）

北見工業大学(1)、秋田大学(1)、東京外国語大学(1)、上越教育大学(1)、新潟大学(1)、富山大学(1)、山梨大学(21)、信州大学(1)、和歌山大学(1)、首都大学東京(1)、横浜市立大学(1)、山梨県立大学(16)、都留文科大学(6)、諏訪東京理科大学(11)、高知県立大学(1)

私立大学（合計287名）

東北医科薬科大学、流通経済大学、国際医療福祉大学、東京福祉大学、埼玉工業大学、城西大学、東京国際大学、獨協大学、文教大学、目白大学、日本医療科学大学、淑徳大学、帝京平成大学、麗澤大学、青山学院大学、亜細亜大学、桜美林大学、北里大学、共立女子大学、工学院大学、國學院大学、国土館大学、駒澤大学、駒沢女子大学、実践女子大学、芝浦工業大学、白百合女子大学、成蹊大学、専修大学、創価大学、大東文化大学、拓殖大学、多摩大学、玉川大学、多摩美術大学、中央大学、東海大学、東京経済大学、東京工科大学、東京造形大学、東京農業大学、東京理科大学、東洋大学、日本大学、文化学園大学、法政大学、武蔵大学、武蔵野大学、武蔵野美術大学、明治大学、明治学院大学、明星大学、立教大学、立正大学、東京聖栄大学、麻布大学、神奈川大学、神奈川工科大学、関東学院大学、相模女子大学、鶴見大学、東京工芸大学、横浜薬科大学、帝京科学大学、山梨学院大学、山梨英和大学、健康科学大学、静岡理工科大学、常葉大学、大阪芸術大学、大阪工業大学、大阪体育大学、大阪電気通信大学、近畿大学、大阪総合保育大学、神戸学院大学、姫路獨協大学、福岡大学

短期大学（合計25名）

大月市立大月、帝京学園、山梨学院、桐朋学園芸術、共立女子、実践女子、愛知医療学院